

# けない 明日へ

2014

## 今を生きる

阪神大震災が契機 市民参加型コンサート

### レクイエム・プロジェクト

# 南相馬に響け鎮魂歌

## 4月6日、県民ら120人共演

東日本大震災の犠牲者に思いを寄せる市民参加型コンサート「レクイエム・プロジェクト」南相馬ツアーは四月六日、南相馬市民文化会館で開かれる。市民を中心とした約百二十人の合唱団がオーケストラの音色に乗せて、鎮魂の歌声を響かせる。



上田さんの指揮で合唱曲を練習する参加者

レクイエム・プロジェクトは大阪府出身の作曲家上田益(すずむ)さん(左)が実行委員会の代表を務め、阪神大震災をきっかけに平成二十二年に神戸市で始まった。東日本大震災の後には昨年、仙台市で開かれ、今年、本県で初めて南相馬市で開催される。

コンサートでは、福島市の詩人白亮一さん(左)が作詞し、上田さんが作曲した復声合唱曲「黙礼」を演奏する。上田さん作曲による三十五分間に及ぶ組曲「レクイエム」の、あなを忘れない、合唱曲に編曲した相馬民謡、モ

### チケット販売中

コンサートは南相馬市民文化会館で4月6日午後2時から開かれる。入場料は前売り1000円、当日1200円で、中学生以下は無料。チケットの購入は市民文化会館 電話0244(25)2763、または相馬市のショッピングタウン・ベガ 電話0244(38)0909へ。メッセージの送り先は実行委員会事務局 ファクス03(6701)7174またはメールrequiem@music.nifty.jp 問い合わせは電話080(5181)6692へ。

ツァルトの「ラウダー・ドミノム」(主をたたえよ)も披露する。

上田さんが指揮を務める。南相馬、相馬、福島、仙台、神戸の各市や東京都などの市民が歌う。オーケストラは仙台フィルハーモニー管弦楽団などからの有志で構成する。東日本大震災から三年がたつ今の思いを百字程度のメッセージとして募り、朗読する。

十六日、南相馬市原町区のはりばり生理学習センターで上田さんを迎えて合唱曲の練習が行われた。南相馬、相馬両市の約六十人が参加した。

### 震災風化させないで

磐城農高生 忘れな草の苗配布



作間さん(中央)に忘れな草の苗を手渡した(左から)小野さん、杉本さん、黒内さん、小針さん

私たちが育てた忘れな草を見ても、震災のことを忘れてほしくない。いわき市の磐城農高と南相馬市の相馬農高の生徒が育てた忘れな草の苗は三月に、東京都内で配られる。一般社団法人ほのぼの運動協議会(本部・東京都)は「福島の高校生が育てた『忘れな草』プロジェクト」を企画した。このうち、磐城農高は、今

東京で来月

月上旬の大豊でビニールハウスが壊れる被害を乗り越えて、苗を十枚程度に育て、生徒代表が十四日、同校を訪れた協議会関係者に苗を手渡した。同校には、昨年十月に協力が届き、十二月から栽培してきた。磐城農高では園芸科二年生三十五人が中心となって約一ヶ月だった苗を世話した。震災でガラ

スハウス五棟のうち二棟が全壊した。被害を受けなかったビニールハウスで手入れをしていたが、嵐のため今月上旬にビニールハウスが崩れた。育てていた千鉢のうち、九百鉢を振り起こした。

磐城農高には、同協議会の副理事長兼事務局長で伊達市(梁川町)出身の作間由美子さん(左)が訪問した。作間さんがプロジェクトの趣旨を説明し協力を感謝した。園芸科二年生でホームルーム長の小野梓さん(二)と杉本望生さん(二)、黒内美菜さん(二)、小針梓さん(二)が苗五百鉢を手渡した。残り百鉢を採集し、来年以降のプロジェクトで役立てる。小野さんは「震災に関係するイベントに参加できてうれしい。東京の人が暮らして忘れな草を見て、震災を忘れずに心にとどめてもらえれば」と期待していた。

イベントは震災三年目に合わせて三月八、九の両日に都内の銀座駅で、十六日に代々木公園でそれぞれ実施する。磐城農高の生徒は八日、相馬農高の生徒は十六日に参加し、通行人らに苗を配る。